

取りまとめ

令和2年3月4日

大会本番時における安全で円滑な大会輸送と経済活動、市民生活の共存に向けた交通需要の削減目標の達成に向けて、以下のとおり取りまとめる。

<東京都・組織委員会>

- ・ 道路交通及び公共交通の交通需要削減に向けて、多様な業種や中小企業など、経済界や市民の協力の輪をさらに広めていくほか、首都高の料金施策や交通規制全般の周知を強化するとともに、テレワーク、時差出勤等の前倒し実施を含め、さらなる交通対策の充実を検討し、実効性を高めていく。
- ・ 経済界に対しては、セミナーや個別相談会の開催、広報の強化等により、きめ細かな情報提供を行い、大会に向けた企業ごとの対策の策定を促すとともに、策定にあたっての個別支援を強化していく。
- ・ 都庁が率先した交通需要削減を行うとともに、大会期間中の工事車両等の削減のため、都庁等発注工事の実施時期等の調整や民間企業への呼びかけについて取り組んでいく。
- ・ アンケート調査の実施等を通じて協力意向の把握に努めるとともに、その結果をもとに呼びかけを強化していく。

<経済界>

- ・ 各経済団体等は企業に対して、大会本番時の交通需要削減への積極的な参画・協力を働きかけるとともに、大会に向けた企業ごとの対策の策定をさらに働きかけていく。
- ・ 物流については、荷主と物流事業者が連携し、多様な業種や中小事業者を含め、サプライチェーン全体で交通量削減に向けた取組を強化していく。

<政府>

- ・ 経済界に対する呼びかけや政府自ら率先した交通需要削減、首都高の料金施策や交通規制全般の周知の強化及びさらなる交通対策の充実について、関係自治体・組織委員会と協力して実施する。
- ・ 特に荷主や物流事業者に対して、多様な業種や中小事業者を含め、働きかけを強めていく。
- ・ 大会期間中の工事車両等の削減のため、国等発注工事の実施時期等の調整や関係者への呼びかけについても取り組んでいく。